

# ヨコハマ 議会 だより

令和3年第3回市会定例会号  
配布 令和3(2021)年11月  
横浜市会議会局  
〒231-0005横浜市中区本町6-50-10  
TEL 045-671-3040  
FAX 045-681-7388  
https://www.city.yokohama.lg.jp/shikai/



令和3年第3回市会定例会が9月10日から10月22日まで開催されました。9月10日の本会議では、8月22日執行の市長選挙で当選した山中竹春市長の所信表明が行われました。

## 三 横浜市会を傍聴してみました! 三

### 一本会議傍聴を紙面でレポート

議員全員で構成され、市会の意思を決定する本会議。  
今回は、9月10日の本会議を実際に傍聴した人の視点でご紹介します。  
傍聴やインターネット中継をご覧になる際には、これらの点にも注目してみてください!

#### 傍聴受付

議事堂3階傍聴受付で必要事項を記入、注意事項の説明を受けます。



傍聴券を受け取って7階の傍聴席へ!

#### モニター視聴

傍聴席に入らず、テレビモニターで本会議の様子を手軽に見ることもできます。



※新型コロナウイルス感染症対策として、出席議員の数を調整しています。

#### 本会議場

- 1 議長の席
- 2 議員や市長などが話す時に立つ演壇
- 3 市長など議員に対して説明する人が座る理事者席
- 4 議員が座る議席

議長の開会宣告で本会議が開始。傍聴席からは、演壇に立つ議員や議員席・理事者席を見渡すことができます。議員が質疑を行う様子を直接見ることができ、議員の熱意も一緒に伝わってきました。

多くの議員から、新型コロナウイルス感染症対策についての質疑があり、私たちの生活にも身近なことが話されていると思いました。

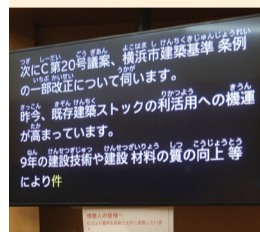


#### 電子採決



議長が本会議で採決をとる行為が「採決」。押しボタンを使う電子採決があるときには、議員ごとの賛否が、正面の大型スクリーンに表示されます。議案ごとに結果がわかりやすくなっています。

#### AIによる文字表示



議事内容を確認できるよう、傍聴席の右側モニターに、音声認識による文字表示が行われています。この他、車いすや補助犬との利用もしやすい傍聴席のつくりや、親子傍聴室の設置等、様々な方が傍聴しやすい配慮がされていると感じます。

#### Finish!

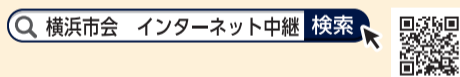
傍聴券を3階傍聴受付に返却し、本日の傍聴終了。次回はインターネット中継で、自宅でも見てみたいです。

#### 市会についてもっと知りたい!

▶ 傍聴をもっと詳しく知りたいときには



▶ 自宅などで視聴したいときには

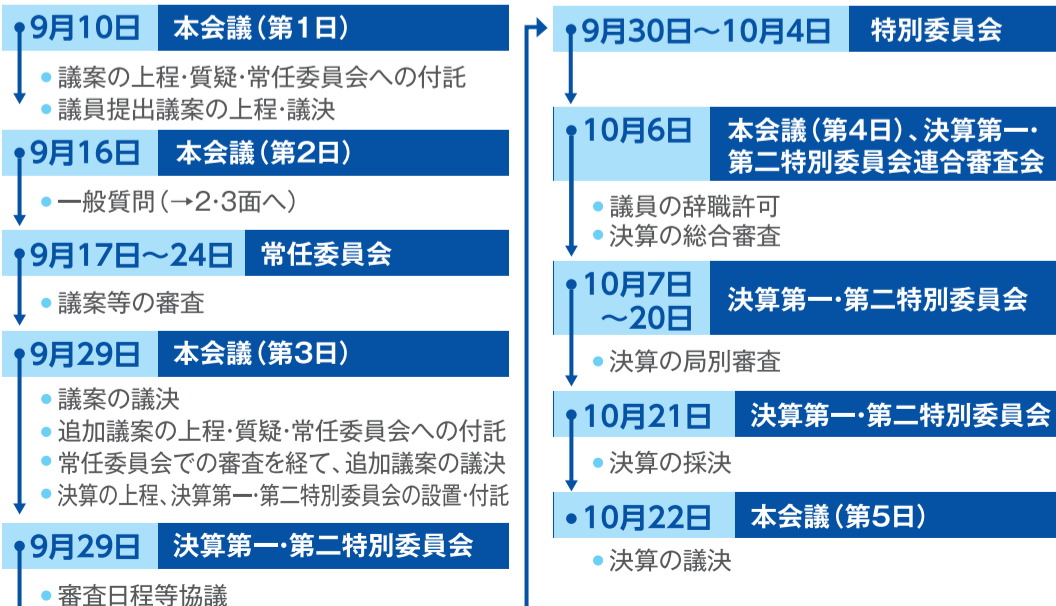


▶ 市会紹介動画「みんなの横浜市会」  
議事堂を議員がレポートして動画で紹介!



### 第3回 市会定例会概要 | 9/10・10/22 | 会期43日間 |

#### 主な流れ



### 38件の議案が可決されました

- 可決された主な議案**
- 令和3年度横浜市一般会計補正予算(第5号・第6号)  
「新型コロナウイルスワクチン接種への対応」や「検査体制の強化」、「市内飲食店の利用促進」等、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた迅速な対応が必要な事業や、国の当初認証に合わせた必要な事業等の補正を行いました。(第5号補正額:390億2,900万円、第6号補正額:6億7,500万円)。
  - 横浜市建築基準条例の一部改正  
既存不適格建築物について用途の変更をする場合に適用される制限の一部を緩和する等の一部改正を行いました。
  - 横浜市屋外広告物条例の一部改正  
広告物活用地区における活力ある街並みの形成等に特に寄与する行事等のための屋外広告物の掲出について、市長との協議が成立したときは許可を受けたものとみなす協議制度を新設する等の一部改正を行います。

※議案に対する各会派の賛否一覧は4面をご覧ください。

## 一般質問から

9月16日本会議(第2日)において、市政全般に関する方針や事業などについて、各会派を代表して9人の議員から「一般質問」が行われました。その中から、14項目を抜粋して掲載します。

<b>【自民党】6問</b> ● デジタル化の推進 ● 横浜市の財政状況 ● 横浜市役所における女性活躍 ● 市長の選挙公約 ● 下水道事業 ● 花博(国際園芸博覧会)開催と今後の旧上瀬谷通信施設跡地の土地利用	<b>【公明党】3問</b> ● 公約と今後の財政運営 ● 新型コロナウイルス対策 ● 新型コロナウイルス対策
<b>【立国フ】3問</b> ● IR(統合型リゾート) ● 中学校給食 ● 地域と学校の連携・協働	<b>【共産党】1問</b> ● 公約実現
	<b>【神奈ネ】1問</b> ● 旧市庁舎の売却問題

### 政策 デジタル化の推進 自民党

**問** デジタル化をどんどん進め、高齢の方々に向けたデジタル施策にも取り組んでいかなければなりません。瀬谷区では、若い人たちの団体が高齢の方々に対して、スマホ教室を開いています。緑区でも、総務省の支援を受けているNPO団体が活動しています。今活動している、これから活動していく民間の人たち、地域の人たちと連携して、デジタル化の水準を上げていく必要があります。デジタル機器に不慣れな方々に向けた解決策として、民間で行われている地域の取組を支援すべきだと考えますが、いかがですか。

**答** 地域では、大学生、NPOなどによる、高齢者向けのスマートフォン講習会や、自治会町内会によるリモート会議の実施など、共助の取組が芽生えています。こうした地域の成功事例を積み重ね、市全体へ広げていくために、国の補助制度なども活用し、多様な主体と連携を図りながら取組を支援していきます。

### 財政 横浜市の財政状況 自民党

**問** 事業の廃止で財源を捻出することは、多くの市民も理解できる財源論です。新たな劇場(オペラハウス)計画を中止することで、市長選挙の公報で記載された615億円の財源が確保できるのか、うかがいます。昨年公表された長期財政推計にはこれまで想定されている事業しか含まれていません。IRも劇場も市長が掲げた「3つのゼロ」も含まれていません。それでも、2065年度には単年度でマイナス2,000億円を超える収支不足が見込まれるほど、市の財政は厳しいのです。このような将来像が分かっている、何もせずに手をこまねいているわけにはいきません。

**答** 新たな劇場計画については、事業化判断の前であり、建設費等の予算が計上されていないことは、認識しています。財源の確保については、将来に向け、新たな劇場計画にかかる負担が不要になるという意味で使いました。

### 政策 横浜市役所における女性活躍 自民党

**問** 前市長は、企業の経営者から政治家として市長に転身され、在任された12年間、一丁目一番地の政策として、女性活躍の推進に取り組まれました。国や政府などと目指すべき姿を共有しながら、連携して取組を進めたその姿は、まさに働く女性の象徴であったと思います。女性活躍に力を入れた前市長への評価について、うかがいます。

**答** 働く女性のロールモデルとして、また、民間企業の経営者をされていた経験を生かして「企業における女性経営層への支援」、「市役所の女性管理職への積極的登用」、また、「待機児童の解消」などに取り組まれ、社会での女性の地位向上や女性を取り巻く社会環境の改善に大きな貢献をされてきたと認識しています。

### 政策 公約と今後の財政運営 公明党

**問** 税収を増加させる取組も重要ですが、成果が出るには時間がかかり、本当に税収が増加するのか、不確実性も伴います。そうなれば、歳出改革とも言うべき既存事業の大幅な見直しが必要となります。「3つのゼロ」の公約を実現するため、真に必要な事業まで不当に削減されれば、結果的に市民生活にしわ寄せが生じ、本末転倒です。行政の継続性と市民生活の安全・安心を確保しながら、公約の実現に必要な歳出改革をどのように、どの程度行うのか、うかがいます。

**答** これまでも、毎年度の予算編成の中で事業見直しを行ってきましたが、優先度の高い事業を実施するために、より踏み込んだ取組が必要です。そこで、市民・議会の皆様と、事業効果や進捗状況に関する様々なデータを共有しながら、事業内容等に応じて、十分な議論・検証を行い、事業の廃止も含む、歳出改革に取り組んでいきます。

### 政策 市長の選挙公約 自民党

**問** 75歳以上の敬老パスを自己負担ゼロにするために、毎年、必要になる財源はどれくらいと想定しているのか、うかがいます。敬老パスの自己負担ゼロは、選挙対策のポピュリズム政策だと、誰もが気づいています。子供たちは選挙権がないので無視をして、投票率の高い有権者の歓心を買うために始めた政策であることは、多くの市民も気づいています。

**答** 仮に令和4年度に無料化し、交付率を3年度予算と同様の約57%で試算すると、75歳以上の利用負担額約15億円が減収となり、新たな市費負担で補うことになります。また、交付率を、利用者負担が無料だったときの約93%で試算すると、事業費の増加分を合わせて、約69億円が必要になります。なお、いずれの試算も、交通事業者の負担の考え方は変更しておらず、交付率が増加した場合は、現在よりも、さらに交通事業者の負担は増す可能性があります。

### 福祉 新型コロナウイルス対策 公明党

**問** 8月のデータによると、市内の感染者数は、10代から30代で全体の約60%を占めるなど若年世代における感染が急拡大しています。若年世代でワクチン接種率が低いことも大きな要因として考えられます。ライフスタイルが多様化する中、時間帯を工夫して、深夜及び早朝も接種を受けることができる環境整備や、若年世代に特化した接種場所の整備などにより、若年世代の接種を促進していくことが必要と考えますが、その方策についてうかがいます。

**答** 夜間への接種時間延長や交通アクセスのよい会場の設置等、多様なライフスタイルに合わせて集団接種会場を再編成しました。さらに、新たな若年世代を対象とした接種会場を設置し、若年世代が接種しやすい環境を整えることで、ワクチン接種を加速化します。また、WEBやSNS等を通じた情報発信や、若年世代をターゲットとしたデジタル広告等の展開により接種意欲を醸成します。

### 福祉 新型コロナウイルス対策 公明党

**問** 感染拡大に合わせて、自宅療養者も増えています。本年7月19日に、軽症者及び中等症者を対象とする中和抗体薬「ナブリーブ」が薬事承認されました。我が党としても政府に緊急要請を行い、現在では外来での投与が認められています。自宅療養者の早期治療のためにも、まずは外来で治療ができる仕組みを構築していくことが重要と考えます。新型コロナウイルス感染症患者に対する早期の治療実施について、うかがいます。

**答** 軽症者に対しても、適切な薬物治療を実施することで重症化の防止が期待できることから、自宅療養者等に対する早期の薬剤投与の重要性が注目されています。市では、これまでも独自に、市民病院などで自宅療養者に対する薬物治療を実施してきましたが、国の診療ガイドラインの改定等も踏まえ、さらに取組を進めていきます。

**環境 下水道事業**

自民党

**問** 国のデータによると、過去10年間の全国の浸水棟数、約32万棟のうち、下水や水路などから水があふれる、いわゆる内水氾濫によるものが約22万棟と68%にも及ぶことが示されています。市長は、所信表明の中で、「超大型台風や集中豪雨、震災等、あらゆる事態を想定した防災・減災の取組をしっかりと進め、市民の皆様の命と暮らしを守ってまいります」と表明しました。浸水対策の取組姿勢について、うかがいます。

**答** 市民生活の安全・安心を確保するため、過去に浸水被害を受けた地域に加え、浸水被害が想定される地域において、先手を打って、雨水幹線等、下水道施設を整備していく予測対応型の雨水整備を推進していきます。また、浸水が想定される区域や日頃からの備えなどを掲載した内水ハザードマップの公表など、ハード・ソフトの両輪で災害に強いまちづくりを進めます。



雨水幹線の例(新羽末広幹線)

**政策 公約実現**

共産党

**問** IR誘致撤回と劇場検討中止について、市長が就任直後の所信表明で述べたことで、市民は納得し安心したと感じます。誘致に反対してきた多くの市民から、「よかった」という声が寄せられています。市長が真っ先にこのIR誘致を止めると明言したことで、横浜はもとより、全国のカジノ誘致反対運動に関わっている方たちに希望を与えました。カジノ誘致反対と住民自治を守ってほしいという市民の期待の声について、うかがいます。

**答** IR誘致反対と住民自治の認識についてですが、今回、市民の皆様の声にお応えして、IR誘致の撤回を、正式に宣言しました。これからも、市民の皆様の声聞き、市政に生かす、そのような現場主義の徹底とともに、地域で活動されている皆様との協働による住民自治を実現していきます。

**都市整備 花博(国際園芸博覧会)開催と今後の旧上瀬谷通信施設跡地の土地利用**

自民党

**問** 花博に関して、様々な新聞報道等もありました。非常に不安になっている瀬谷区民、横浜市民、日本全国で花博を楽しみにしている方も多いのではないかと考えています。改めて、花博に対する思いを語っていただきたいと思いますが、いかがですか。

**答** 市は、平成29年度に市民意見の募集を踏まえた基本構想案を策定し、令和元年度に国際園芸家協会AIPHへの開催申請を行い、承認を得ました。また、今年6月には、国において、園芸博を2027年に横浜市で開催すること等が、閣議了解されました。これまでの取組を踏まえ、引き続き国や関係機関と連携して、開催に向けた取組をしっかりと進めていきます。



会場イメージ図

**都市整備 旧市庁舎の売却問題**

神奈ネ

**問** 旧市庁舎の売却及び定期借地に関する契約について、市長会見では「事実関係の確認をしたい」、選挙期間中には「代替プランを提示する」とも言っていました。確認の結果、財産処分等の手続に瑕疵がないと判断されても、より市民に利益が還元される代替案を提示する意思だと捉えています。市長は、自身で本契約の妥当性について確認し、代替プランを検討したのか、うかがいます。77年間もの定期貸付けを実施するなど、市の財政にも長期にわたる影響を及ぼす本計画については、契約業務を一旦停止し、再考することを強く求めます。

**答** 建物の売却価格に関しては、その妥当性について、私のところにも意見が寄せられています。そのため、価格算定の妥当性について、まず早急の確認すべきであると考えています。そのうえで、価格算定の妥当性が認められなかった場合には、代替プランの検討等も視野に入れざるを得ないかと考えています。

**IR (統合型リゾート)**

立国フ

**問** 市長は所信表明でカジノ誘致の撤回を宣言しました。今後どのように山下ふ頭の開発を進めていくのか、うかがいます。今後の検討に当たり、市民の皆さんに対しては、作為的な情報発信ではなく、正しい情報を伝え、理解していただくことがとても重要です。次の世代、さらに、その次の世代へ引き継げる横浜となるよう、市民と共に取り組んでいただくことをお願いします。

**答** まず、地元の関係団体を含む市民の皆様との意見交換、有識者や民間デベロッパー等へのヒアリングなどを開始し、事業の枠組みを整理します。その上で、有識者や地元の皆様などで構成される委員会を設置し、透明性を確保しながら議論を重ね、新たな事業計画の策定を進めます。

**教育 中学校給食**

立国フ

**問** 現在の食材費は、喫食率2割から3割程度を想定して算出されたものです。今後、全員喫食になると、教職員含めて1日4倍以上を製造することになり、スケールメリットを生かして、食材調達価格を抑えることが可能となります。スケールメリットを生かして、保護者負担額を少しでも軽減できる仕組みを検討すべきと考えますが、いかがですか。

**答** 食数が増えることで、食材の調達価格を一定程度抑えられることが見込めます。一方で、今後の物価変動や、全員喫食の際に必要な83,000食分の食材を一括で調達できるかなどの検討が必要となります。給食の質の向上を一層図りつつ、保護者負担額をなるべく抑えられるよう、最適な仕組みを検討していきます。

**教育 地域と学校の連携・協働**

立国フ

**問** 現在私が関わりのある中学校では、子供たちに対する、持続可能な変わらぬ支援体制を構築していくために、放課後の学習支援や地域学校協働本部など、様々な活動を行うNPO法人を設立する取組が進もうとしています。地域全体で子供を育てる機運が醸成されつつあります。地域学校協働本部がより充実し、継続的な取組となるよう、教育委員会が積極的に支援を行うべきであると考えますが、いかがですか。

**答** 様々な機会を通じて、地域住民や企業等に対し、社会全体で子供を育てる意義や学校教育目標等を共有し、地域学校協働活動の必要性を周知するとともに、参画を働きかけます。また、区役所等の関係機関と連携し、地域学校協働活動に参画する方々のより一層の人材確保に努めるとともに、研修等を通じた人材育成の取組を進めます。



放課後の学習支援の様子

# 議案に対する各会派の賛否一覧

議員別の賛否一覧及び議案の内容については、市会ホームページをご覧ください。



令和3年 第3回市会定例会

○は賛成、×は反対

議案名		自 (36)	憲 (20)	公 (16)	共 (9)	井 (1)	豊 (1)	ネ (1)	※無 (1)	議決結果	
市長提出議案	●中央卸売市場条例の一部改正●児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正●公衆浴場法施行条例の一部改正●地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	●建築基準条例の一部改正●屋外広告物条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	
	●夢見ヶ崎第7号線等市道路線の認定及び廃止●県道の路線の認定及び廃止に関する意見提出●道路用の土地の取得●高規格救急車の取得●市立小学校の避難訓練中における傷害事故についての和解●スポーツ施設の指定管理者の指定●市民文化会館の指定管理者の指定●市民ギャラリーの指定管理者の指定●能楽堂の指定管理者の指定●横浜みなとみらいホールの指定管理者の指定●芸能センターの指定管理者の指定●地域ケアプラザの指定管理者の指定●地域ケアプラザ及び地区センターの指定管理者の指定●福祉保健活動拠点の指定管理者の指定●精神障害者生活支援センターの指定管理者の指定●本牧市民プール再整備事業契約の締結●横浜美術館改修工事(建築工事)請負契約の締結●横浜美術館改修工事(電気設備工事)請負契約の締結●横浜美術館改修工事(空気調和設備工事)請負契約の締結●中央卸売市場本場青果部施設整備工事(第1工区建築工事)請負契約の締結●上菅田笹の丘小学校建替工事及び上菅田笹の丘コミュニティハウス(仮称)新築工事(建築工事)請負契約の締結●都岡小学校校舎建替工事(建築工事)請負契約の締結●汐見台小学校建替工事(建築工事)請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	●道路占用料徴収処分に係る審査請求に関する諮問	○	○	○	○	○	○	○	○	議決中	
報告	●令和3年度一般会計補正予算(第3号)についての専決処分報告●令和3年度一般会計補正予算(第4号)についての専決処分報告										
予補正	●令和3年度一般会計補正予算(第5号)●令和3年度一般会計補正予算(第6号)										
議員(委員会)提出議案	改正	●子供を虐待から守る条例の一部改正									
	改正	●横浜市会会議規則の一部改正(市会運営委員会)									
	意見書	●コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(政策・総務・財政委員会)●障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の一部改正を求める意見書(健康福祉・医療委員会)									
会派別議員一覧(令和3年9月29日現在)	<b>自由民主党横浜市議員団・無所属の会(自) 36人</b> ●青木 亮祐 ●東 みちよ ●伊波俊之助 ●磯部 圭太 ●大桑 正貴 ●安西 英俊 ●尾崎 太 ●加藤 広人 ●木内 秀一 ●行田 朝仁 ●梶村 充 ●鴨志田啓介 ●川口 広 ●草間 剛 ●黒川 勝 ●久保 和弘 ●源波 正保 ●齊藤 伸一 ●斎藤 真二 ●高橋 正治 ●小松 範昭 ●輿石 且子 ●佐藤 茂 ●佐藤 祐文 ●齊藤 達也 ●竹内 康洋 ●竹野内 猛 ●中島 光徳 ●仁田 昌寿 ●福島 直子 ●酒井 誠 ●清水 富雄 ●渋谷 健 ●鈴木 太郎 ●瀬之間康浩 ●望月 康弘 ●関 勝則 ●田野井一雄 ●高橋のりみ ●長谷川琢磨 ●福地 茂 ●伏見 幸枝 ●藤代 哲夫 ●古川 直季 ●松本 研 ●山下 正人 ●山田 一誠 ●山本たかし ●遊佐 大輔 ●横山 正人 ●横山勇太郎 ●渡邊 忠則										
	<b>立憲民主党・国民フォーラム横浜市議員団(憲) 20人</b> ●有村 俊彦 ●大岩真善和 ●大野トモイ ●大山しょうじ ●荻原 隆宏 ●小幡正雄 ●梶尾 明 ●こがゆ康弘 ●今野 典人 ●坂本 勝司 ●田中 ゆき ●中山 大輔 ●長谷川えつこ ●花上喜代志 ●ふじい芳明 ●藤崎浩太郎 ●麓 理恵 ●望月 高徳 ●森ひろたか ●谷田部孝一 ●山浦 英太										
	<b>公明党横浜市議員団(公) 16人</b> ●安西 英俊 ●尾崎 太 ●加藤 広人 ●木内 秀一 ●行田 朝仁 ●久保 和弘 ●源波 正保 ●齊藤 伸一 ●斎藤 真二 ●高橋 正治 ●竹内 康洋 ●竹野内 猛 ●中島 光徳 ●仁田 昌寿 ●福島 直子 ●望月 康弘										
	<b>日本共産党横浜市議員団(共) 9人</b> ●荒木由美子 ●岩崎ひろし ●宇佐美さやか ●大貫 憲夫 ●河治 民夫 ●北谷 まり ●白井 正子 ●古谷 靖彦 ●みわ智恵美										
<b>井上さくら(井)</b> ●井上さくら <b>神奈川ネットワーク運動(ネ)</b> ●平田いくよ <b>豊田有希(豊)</b> ●豊田 有希 <b>無所属(無)</b> ●二井くみよ											

※無所属の二井くみよ議員は9月26日執行の補欠選挙で当選したため、9月10日の議決には参加していません。

## 可決

市会では、意見書を国会及び国や県などに提出することで、議会としての意思を表明します。

### された意見書

#### ● コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(要旨)

国におかれては、令和4年度地方税制改正に向け、次の事項を確実に実現されるよう強く要望する。

- 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。他4項目

#### ● 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の一部改正を求める意見書(要旨)

国におかれては、障害を有しても、誰もが人として尊重され、地域社会の一員として暮らし続けられるよう、また、精神医療をより良いものとするため、次の事項に取り組まれることを強く要望する。

- 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の一部を改正し、虐待発見時の市町村への通報義務対象として医療機関における虐待も対象とすること。他1項目

### 第4回市会定例会の日程

令和3年第4回市会定例会は、11月30日(火)から12月21日(火)まで開催される予定です。日程は変更される場合があります。最新の日程は市会ホームページをご確認ください。

#### ■ 本会議の開催予定

- 11月30日(火) 10:00～(議案上程(給与条例関係)・質疑・付託・議案議決)
- 12月 7日(火) 10:00～(議案上程・質疑・付託)
- 12月10日(金) 10:00～(一般質問)
- 12月21日(火) 14:00～(議案議決)

本会議・委員会は、どなたでも傍聴することができます。当日、市会議事堂までお越しください。



## 議会通信

### 👉 新たな当選人の決定

令和3年9月26日に執行された、横浜市議会議員磯子区選挙区における補欠選挙の結果、二井くみよ氏が新たな当選人に決定されました。

また令和3年9月29日付で、二井議員は市民・文化観光・消防委員会、郊外部再生・活性化特別委員会の委員に選任されました。

### 👉 小幡正雄議員逝去

小幡正雄議員(78歳、ヨコ会、金沢区選出)が、令和3年9月6日逝去されました。ここに哀悼の意を表し、謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

### 👉 議員の辞職について

令和3年10月6日付で、古川直季議員(自民党、旭区選出)が辞職しました。

### 👉 ご意見・ご感想をお寄せください

「ヨコハマ議会だより」をはじめ、市会ホームページなどで議会の広報を行っています。紙面やウェブサイトなどについて、皆様からの御意見・御感想をお待ちしています。

